さくらぐみだより　１０月

運動会では、温かいご声援とたくさんの拍手をありがとうございました。一人一人が自分なりに頑張る姿を保護者の皆様に見ていただくことができ、嬉しく思います。運動会後には、「やってみたい！」という気持ちが広がり、年長児が運動会で挑戦していた竹馬やサッカーなど色々な遊びを積極的に楽しんでいます。

これからも、子どもたちの「やってみよう」という気持ちに寄り添い、体を動かす楽しさを感じられるように励ましたり、認めたりしていきます。

運動会、楽しかったね

運動会では、一人一人が自分なりに挑戦し、たくさんの人に見守られながら、緊張しつつもたくさん体を動かして楽しんでいました。当日も「緊張する」と話しながらも、頑張る姿が見られました。

後日、パスや絵の具で運動会の絵をかくと、「これはアオムシをしているところ」「フルーツをいっぱいかきたいな」「みんな見に来てくれた」と、当日のことを思い出しながら楽しそうにかいていました。完成して飾ると、「これ私がかいたんだよ」と友達や教師に嬉しそうに話していました。




一緒にやってみよう！

運動会の取り組みを見せ合う中で憧れていた、パラバルーンやフラッグをつきぐみと一緒にしました。掛け声に合わせて手を動かし、「上手だね」と褒められると得意気な表情をしていました。「今度は教えてあげたい！」という声から、ぱんだぐみと一緒にフルーツ狩りをして遊びました。目線を合わせ、どのフルーツを採りたいか話を聞いたり、フルーツは一人一個ずつ採ることを伝えたりして頼もしい一面が見られました。

これからも、お互いに思いやる気持ちをもちながら遊ぶことができるように、異年齢の友達と交流する機会を積み重ねていこうと考えています。





縄跳びに挑戦！

さくらぐみでは、運動会のお土産でもらった縄跳びが人気です。「先生、見ててね」「跳べたよ」と、できるようになったことを嬉しそうに知らせてくれます。縄跳びに挑戦したい気持ちを大切にしながら、色々な縄跳び遊びを楽しめるような機会をつくっていきます。

遊んだ後は、縄跳びを自分で結んでから片付けます。「輪っかをつくって…」と手順を考えながら結び、どうしても難しい場合は自分で教師に「手伝って」と伝えて諦めずに頑張っています。






芋ほり遠足ごっこをしたよ

２０日の芋ほり遠足が延期になったため、芋ほり遠足ごっこをしました。画用紙で芋をつくり、カラーポリ袋の畑に埋めるといよいよ芋ほりスタートです。「大きいお芋ほるで」と期待をもっていました。実際に軍手をはめて掘って遊ぶと「お芋食べたいよ～」という声が聞こえてきました。芋ほりのイメージを膨らませて遊び、本物の芋に触ることを楽しみにしています。








